

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	化粧品分析ゼミ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年 分析専攻		学期及び曜時限	後期	教室名	4校舎6階基礎医学実習室
担 当 教 員	和田光弘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
化粧品を実際につくすることで、より深く化粧品を理解する。 種々の化粧品を構成する特徴的な成分を知り、化粧品の原料および処方その特性を理解する。 化粧品の企画・研究・開発・製造・販売の流れにおいて、化粧品技術者が行っている業務を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート50点＋出席点30点＋平常点(積極的参加度)20点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パワーポイントなどの使用、または必要に応じてオリジナルプリント配布。						
《授業外における学習方法》						
次回授業予定のスキンケア化粧品について、自分の使っている商品の外装(全成分表示記載部分)を調べる。 指示のあった授業のレポートを作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
実験については正確さが重要であり、個人およびグループの創意工夫も大切である。 実験においては誤った操作をすると事故につながる恐れもあるため、教員の指示に従い慎重に行動し白衣を着用する。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	化粧品をつくるための化粧品技術者の役割業務について理解する。		パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布 アンケート実施	
		各コマにおける授業予定	化粧品の企画から研究開発、製造販売までの全体像の理解を深め、化粧品技術者の業務に言及する。			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	化粧品をつくるための化粧品技術者の役割業務について理解する。		パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	アンケート提出
		各コマにおける授業予定	化粧品の企画から研究開発、製造販売までの全体像の理解を深め、化粧品技術者の業務に言及する。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	スキンケア化粧品について理解する。		パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	スキンケア化粧品概論			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	スキンケア化粧品について理解する。		パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	つくってみよう化粧品 化粧品処方の多くを占める乳化についての基礎(理論と実験)			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	スキンケア化粧品について理解する。		パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	乳化についての基礎(理論と実験)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	スキンケア化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	自分の使っている化粧水の全成分調査(使用者のみ)
		各コマにおける授業予定	乳化についての基礎(理論と実験)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	可溶化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	化粧水実験 化粧水処方の考え方、製法、実感		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	可溶化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	化粧水実験 化粧水処方の考え方、製法、実感		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	可溶化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	美容液実験 美容液処方の考え方、製法、実感		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	可溶化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	レポート作成提出
		各コマにおける授業予定	美容液実験 美容液処方の考え方、製法、実感		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	乳化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	乳液実験 乳液処方の考え方、製法、実感		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	乳化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	乳液実験 乳液処方の考え方、製法、実感		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	乳化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	クリーム実験 クリーム処方の考え方、製法、実感		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	乳化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	クリーム実験 クリーム処方の考え方、製法、実感		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	乳化化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	オリジナル乳化処方作成の考え方および実践		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		薬業科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	演 習	
科 目 名		化粧品分析ゼミ		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		1年 分析専攻		学期及び曜時限		後期	教室名	4校舎6階基礎医学実習室	
担 当 教 員		和田光弘		実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》									
化粧品を実際につくることで、より深く化粧品を理解する。 種々の化粧品を構成する特徴的な成分を知り、化粧品の原料および処方その特性を理解する。 化粧品の企画・研究・開発・製造・販売の流れにおいて、化粧品技術者が行っている業務を理解する。									
《成績評価の方法と基準》									
レポート50点＋出席点30点＋平常点(積極的参加度)20点									
《使用教材(教科書)及び参考図書》									
パワーポイントなどの使用、または必要に応じてオリジナルプリント配布。									
《授業外における学習方法》									
次回授業予定のスキンケア化粧品について、自分の使っている商品の外装(全成分表示記載部分)を調べる。 指示のあった授業のレポートを作成する。									
《履修に当たっての留意点》									
実験については正確さが重要であり、個人およびグループの創意工夫も大切である。 実験においては誤った操作をすると事故につながる恐れもあるため、教員の指示に従い慎重に行動し白衣を着用する。									
授業の 方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第 16 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	乳化化粧品について理解する。			パワーポイントな どの使用 または必要に応 じてオリジナルプ リント配布	レポート作成提出		
		各コマに おける 授業予定	オリジナル乳化処方作成の考え方および実践						
第 17 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	洗浄化粧品について理解する。			パワーポイントな どの使用 または必要に応 じてオリジナルプ リント配布			
		各コマに おける 授業予定	各種クレンジング処方の考え方、作成、機能比較						
第 18 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	洗浄化粧品について理解する。			パワーポイントな どの使用 または必要に応 じてオリジナルプ リント配布			
		各コマに おける 授業予定	各種クレンジング処方の考え方、作成、機能比較						
第 19 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	洗浄化粧品について理解する。			パワーポイントな どの使用 または必要に応 じてオリジナルプ リント配布			
		各コマに おける 授業予定	ヘアシャンプー、ボディソープ処方の考え方、作成、機能比較						
第 20 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	洗浄化粧品について理解する。			パワーポイントな どの使用 または必要に応 じてオリジナルプ リント配布	レポート作成提出		
		各コマに おける 授業予定	ヘアシャンプー、ボディソープ処方の考え方、作成、機能比較						

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	口紅処方の考え方、製法、作成、実感		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	口紅処方の考え方、製法、作成、実感		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	口紅処方の考え方、製法、作成、実感		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	口紅処方の考え方、製法、作成、実感		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	アイシャドウ処方の考え方、製法、作成、実感		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	アイシャドウ処方の考え方、製法、作成、実感		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	アイシャドウ処方の考え方、製法、作成、実感		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	レポート作成提出
		各コマにおける授業予定	アイシャドウ処方の考え方、製法、作成、実感		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	化粧品新製品のマーケティング、企画、開発について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	
		各コマにおける授業予定	メイクアップ化粧品の新色について、実際に企画立案から開発までをおこない、模擬新製品開発を実感する。		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	化粧品新製品のマーケティング、企画、開発について理解する。	パワーポイントなどの使用 または必要に応じてオリジナルプリント配布	発表
		各コマにおける授業予定	メイクアップ化粧品の新色について、実際に企画立案から開発までをおこない、模擬新製品開発を実感する。		